

「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート

記入日 平成 31 年 4 月 9 日

仕 事 の 内 容	職員交通安全推進事業			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 岩本 尚史

この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。	施 策 番 号	行 - 2	-
【施策名】 効率的でスリムな行財政運営の実現	総合計画書 (ページ)	122	

予算名	款 2	総務費	項 1	総務管理費	目 9	公安費	事業 5	職員交通安全推進事業費
-----	-----	-----	-----	-------	-----	-----	------	-------------

1 この仕事の目的	① 誰(何)を対象にしていますか。 庁用自動車を運転する職員	→	① ①の対象数や量を、あらわすもの(対象指標) 運転者講習会参加人数(延べ)
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に] 交通事故を発生させないようにする。	→	② ②の状態になった数・量をあらわすもの(成果指標) 庁用自動車事故発生件数(市に過失があるもの)
	③ そのために何をしましたか。 ・職員を対象とした運転者講習会を開催する。 ・安全運転管理者及び副安全運転管理者を選任し、法定講習を受講する。 ・全国交通安全運動の時期に職員に対し安全運転を呼びかける。 ・毎月の安全運転管理目標を定め、各課に周知を図る。 ・事故が発生した場合、全庁的に事故事例の情報共有を行う。	→	③ ③をどのくらい行いましたか(活動指標) 運転者講習会開催回数

2 指標の推移		単 位	平成28年度実績	平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度目標	平成32年度目標
	対象指標	①の数値	人	275	307	345	/
	成果指標	②の数値	件	8	7	10	/
	目 標	②の目標値	%	0	0	0	0
		目標値設定の考え方					
活動指標	③の数値	階	2	2	2	/	

3 経費	事業費(実績)		円	56,340	56,340	64,385	※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費(再任用職員以外) 年間単価は、8,244,000円 時間単価は、4,200円 で計算してください。 【算出根拠】平成29年度決算数値。(退職手当組合負担金、共済費も含む。)
	財源	一般財源	円	56,340	56,340	64,385	
		特定財源	円	0	0	0	
		(うち受益者負担)	円	0	0	0	
	人件費(目安)	所要人数(再任用以外)	人	0.10	0.10	0.1	
		所要人数(再任用)	人	0.0	0.0	0.0	
		職員人件費(再任用以外)	円	824,400	824,400	824,400	
	職員人件費(再任用)	円	0	0	0		
事業費+人件費		円	880,740	880,740	888,785		

この仕事における市の裁量 市の裁量は大さい

4 環境変化	この仕事の開始時期(開始年度)、何を目的に開始していますか。 庁用自動車の使用により、本事業が開始された。道路交通法第七十四条の三の規定により、車両を5台以上使用する事業所は安全運転管理者を、20台以上使用する事業所はさらに副安全運転管理者を設置し、交通安全教育を行うこととされているため、本事業を行っている。
	開始当初と比較し、状況の変化はありますか。 特になし。

仕 事 の 内 容	職員交通安全推進事業			
担当部署・課長名	総務管財	課	用地管財	係 課長名 岩本 尚史

5 市民等の意見	この仕事に関して、平成30年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について			
6 市民協働	(1)市民協働の取組を行いましたか。ある場合は、取組手法の種類から番号を選択。（複数回答可）			
	取組みは無い	取組手法	【取組手法の種類】 ①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成 ⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ）⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）	
	(2)平成31年度に向け、さらに適した協働の形態とするための「考え」又は「気付いた」点			
7 課題	(1)「平成29年度に実施した仕事」の振り返りシート 「7 課題（2）」の内容 人身事故は発生していないが、軽微な自損事故及び物損事故は発生しているので、継続して注意を呼びかける必要がある。ベテラン職員の退職に伴い、運転経験の少ない若手職員が業務において運転する機会も増加しているため、運転技術の向上を図る必要がある。			
	(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成30年度に実施したこと。 毎月の事故件数結果を周知し、交通事故防止の意識向上を図った。また、庁用車へのドライブレコーダー設置を開始した。			
	(3)(2)を踏まえた今後の課題			
	件数こそ少ないものの、事故は発生している。無事故にするための検討が必要である。			
8 今後の方向性	(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題解決に向けた具体的な改革・改善案など） 運転者の交通安全に対する意識を高めることができるように、呼びかけ方法を工夫していく。ベテラン職員の運転に同乗するなど、職場OJTにより運転技術指導を行うよう各課に呼び掛けていく。			
	(2)上記(1)の改革・改善案を実現するために、克服すべき問題点、必要な調整・準備等 予算調整や人員配置、寄附の受諾状況によっては専門部署の設置等を含め、調整していく必要がある。			
	(3)改革・改善案による期待成果 上記(1)の改革・改善案を実施することで、成果面と経費面で現状からどのように変わりますか。			
	成果	成果を向上させる。		経費